

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
理科	科学と人間生活	2単位	1年	必履修
選択条件				
対象者	1年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	この授業では、自然と人間生活とのかかわりや、科学技術が人間生活に果たしてきた役割について学習します。身近な技術や機械の発展に始まり、生物学や物理学、地球学なども幅広く学ぶことができます。複数人でのグループワークや実験、発表にも積極的に参加して、いままで何気なく過ごしていた日常をもう一段階高い視点で見えていく力をつけよう。			
教材 実習費等	<教材> 第一学習社 「高等学校 科学と人間生活」 <副教材> 第一学習社 「新課程版 ネオパルノート科学と人間生活」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	科学と人間生活との関わりについて基本的な概念や原理・法則などを理解している。また、科学的に探究するために必要な観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行うことができている。また、得られた結果を分析・解釈し、表現するなど、科学的に探究している。学習した知識を、日頃の生活に活かしていく方法を考えている。	自然の事物・現象に進んで関わり、その原理や法則を認識し、問題を解決するために粘り強く考えることができている。科学的な根拠を持って問題解決に取り組み、結果に対して誠実に考察し、評価・改善しようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	序章 科学技術の発展	1. 情報伝達技術の発展 2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3. 医療技術の発展	ワ 定 観	ワ 定	観 提
5		【1学期中間考査】			
6	第I章 物質の科学	第1節 材料とその利用 1. プラスチックの特徴 2. プラスチックの分類と用途(1) 3. プラスチックの分類と用途(2) 4. さまざまなプラスチック 5. 金属と人間生活 6. 金属とその精錬(1) 7. 金属とその精錬(2) 8. 金属のさびと合金 9. 資源の再利用(1) 10. 資源の再利用(2)	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
		【1学期期末考査】			

7 9 10	第II章 生命の科学	第2節 微生物とその利用 1. 身近な微生物 2. 微生物の発見 3. 生態系内の微生物 (1) 4. 生態系内の微生物 (2) 5. 微生物の利用 6. 食品と微生物 (1) 7. 食品と微生物 (2) 8. 医薬品と微生物 9. 微生物の利用の広がり 【2学期中間考査】	ワ 定 観	ワ 定 提 発	観 発 提
11 12	第III章 熱や光の科学	第2節 光の性質とその利用 1. 光の発生と速さ 2. 光の反射・屈折 3. 光の分散 4. 光の散乱 5. 光の回折・干渉・偏光 6. 電磁波の種類とその利用 (1) 7. 電磁波の種類とその利用 (2) 【2学期期末考査】	ワ 定 観	ワ 定 提	観 提
1 2	第IV章 地球や宇宙の科学	第2節 太陽と地球 1. 太陽と太陽系 2. 太陽系を構成する天体 3. 太陽と人間生活 (1) 4. 太陽と人間生活 (2) 5. 天体の動き 6. 太陽と月の動き (1) 7. 太陽と月の動き (2) 8. 太陽の動きと太陽暦 【学年末考査】	ワ 定 提	ワ 定 提	発 提
3	第V章 これからの科学と人間生活	1. 新機能を備えたプラスチックの開発 2. 環境浄化のための微生物の利用 3. 発酵食品における微生物の利用 4. 光通信の特徴とその利用 5. 人工衛星による地球表面の探査	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察・実験 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
理科	物理基礎	3単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 進学系列理数コース			
取得資格				
学習のアドバイス	この授業では、物体の運動・波動・熱・電気等の分野について学習します。日常生活におけるさまざまな現象を論理的にとらえ、「なぜこの現象が起こるか」「このあとどのような変化が起こるか」が理解できるようにになります。身の回りの様々な現象を改めて観察し、これまでよりもう一段階深い視点で考えられる力をつけましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「新編 物理基礎」 <副教材> 東京書籍「新課程 ニューサポート 新編 物理基礎」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な基本的技能を身につけている。	物体とエネルギーに関する探究の過程を通して、実験データの分析や解釈、法則性の導出など、探究する方法を身につけるとともに、探究内容の発表などをい、科学的に探究する力を身につけている。	物体の運動とさまざまなエネルギーに主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決しようとするなど、科学的に探究しようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4 5	1編 1章 直線運動の世界	1. 運動の表し方 2. 変位と速度 3. 速度 4. 加速度運動 5. 落下運動 6. 投射運動 【1学期中間考査】	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
6 7	2章 力と運動の法則	1. 力とつり合い 2. 力の合成と分解 3. 慣性の法則 4. 力と運動の関係 5. 摩擦力 6. 空気抵抗 7. 水圧と浮力 【1学期期末考査】	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
9 10	3章 力学的エネルギー	1. 仕事と仕事率 2. 運動エネルギー 3. 位置エネルギー 4. 力学的エネルギー保存 5. 運動とエネルギー 【2学期中間考査】	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提

11	2編 1章 熱	1. 温度と熱 2. 熱と物質 3. 熱の移動と保存 4. 熱と仕事 5. 熱機関と不可逆変化 6. いろいろな波 7. 波の表し方 8. 横波と縦波	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
12		【2学期期末考査】			
1		9. 波の重ね合わせ 10. 定在波 11. 波の反射 12. 音波 13. 弦、気柱の振動	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
2	3章 電気	1. 静電気 2. 電流と抵抗 3. 回路 4. 電力と電力量 5. 電磁誘導 6. 発電機 7. 直流と交流 8. 電磁波			
		【学年末考査】			
3	4章 エネルギーとその利用 物理学が開く世界	1. エネルギーの変換と保存 2. 原子核のエネルギー 3. 放射線の利用と安全性 4. エネルギーの利用と課題	観	提	観 発 提

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察・実験 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
理科	化学基礎	2単位	2年	選択
選択条件				
対象者	2年生 進学系列理数コース			
取得資格				
学習のアドバイス	この授業では、身の回りの物質とその変化に関わる基礎的な内容を、小さな粒子に注目して学習します。物質の劣化の防ぎ方や混ぜると危険な物質など、日常生活を送るうえで大切な知識を学ぶことができます。薬品の知識や器具の使い方なども扱うため、医療・看護系を目指す場合は積極的に授業を受けましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「新編 化学基礎」 <副教材> 東京書籍「新課程 ニューサポート 新編化学基礎」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	化学と人間生活、物質の構成、物質の変化とその利用について、日常生活や社会との関連を図りながら理解するとともに、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。	観察・実験などを通して探究する中で、身近な元素、物質の構成、化学反応干渉する物質、中和反応に関与する物質などについて規則性や関係性を見出して理解し、各現象を言葉で表現する力を身に付けている。	新たに学んだ物質や現象をより深く理解しようとしている。また、学んだ内容について日常生活と結びつけ、科学的に探究しようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4 5	1編 1章 化学とは何か 2章 物質の成分と構成元素	1. 物質の区別 2. 物質の成分 3. 物質の構成元素 4. 物質の三態 【1学期中間考査】	ワ 定 観	ワ 定	観 提
6	2編 1章 原子の構造と元素の周期表 2章 化学結合	1. 原子の構造 2. 電子配置と周期表 3. イオンとイオン結合 4. 分子と共有結合 5. 金属と金属結合 6. 化学結合と物質の分類 【1学期期末考査】	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
7 9 10	3編 1章 物質質量と化学反応式	1. 原子量、分子量、式量 2. 物質質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応の表し方 5. 化学反応式の表す量的関係 【2学期中間考査】	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提

11	2章 酸と塩基	1. 酸と塩基 2. 水素イオン濃度と pH 3. 中和反応と緑の生成 4. 中和滴定 【2学期期末考査】	ワ 定 観	ワ 定 提	観 提
12					
1	3章 酸化還元反応	1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の応用 【学年末考査】	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
2					
3	終章 化学が拓く世界	1. 身の回りの化学	観	提	観 発 提

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察・実験 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
理科	化学	4単位	3年	選択
選択条件	2年生で化学基礎を履修した人			
対象者	3年生 進学系列理数コース			
取得資格				
学習のアドバイス	この授業では、化学基礎までの学習を踏まえたうえで、物質の構造や規則性や関係性、その知識を生かして目的にかなった物質を作り出すことについて学びます。より専門的な理論を学び、数字を使った計算を行うことでより現実的な内容にアプローチしていきます。知識と数式を組み合わせることで、物質についてより深く学ぶことができます。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「化学」 <副教材> 東京書籍「新課程 ニューアチーブ 化学」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけている。	化学的な事物・現象についての探究の過程を通して、実験データの分析や解釈、法則性の導出など、探究する方法を身につけるとともに、探究内容の発表など、科学的に探究する力を身につけている。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決しようとするなど、科学的に探究しようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4 5 6	1編 物質の状態	1. 物質の状態 2. 気体の性質 3. 溶液の性質 4. 固体の構造 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">【1学期中間考査】</div>	ワ 定 観	ワ 定 提	観 提
7	2編 化学反応とエネルギー	1. 化学反応と熱・光 2. 電池と電気分解 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">【1学期期末考査】</div>	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
9 10 11	3編 化学反応の速さと平衡	1. 化学反応の速さ 2. 化学平衡 3. 水溶液中の化学平衡 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">【2学期中間考査】</div>	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提

12	4編 無機物質	1. 周期表と元素 2. 非金属元素 3. 典型金属元素 4. 遷移元素 5. 金属イオンの分離と確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">【2学期期末考査】</div>	ワ 定 観	ワ 定 提	観 提
1 2	5編 有機化合物	1. 有機化合物の構造と特徴 2. 炭化水素 3. アルコールと関連化合物 4. 芳香族化合物	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提
	6編 高分子化合物 化学が果たす役割	1. 高分子化合物とは何か 2. 天然高分子化合物 3. 合成高分子化合物 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">【学年末考査】</div>	ワ 定 観	ワ 定 提	観 発 提

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察・実験 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
理科	生物	4単位	3年	選択
選択条件	2年生で生物基礎を履修した人			
対象者	3年生 進学系列理数コース			
取得資格				
学習のアドバイス	この授業では、生物と生物現象について観察・実験などを行いながら学習を進めます。生物に関する単語の暗記にとどまらず、学習を積み重ねながら、未知の現象を科学的に探究する能力と態度を身に付けます。学習内容のレベルは高いですが、生物学の基本的な概念や原理・法則への理解を深め、科学的に身の回りの生命現象を理解する力をつけられるように頑張りましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「生物」 <副教材> 東京書籍 ニューグローバル生物			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生物個体の代謝メカニズムや、生物同士の関わりについて理解するための観察、実験に関する基本的な知識や技能を身につけている。生物に関する基本的な知識を身につけている。	見通しを持って観察、実験などを行うことができている。また、得られた結果を学習した知識を用いて分析・解釈し、表現するなど、科学的に探究している。学習した知識を、日頃の生活に活かしていく方法を考えている。	生物や生物現象に進んで関わり、その原理・法則を認識し、問題を解決するために粘り強く考えることができている。科学的な根拠を持って問題解決に取り組み、結果に対して誠実に考察し、評価・改善しようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	1編 生物の進化	1. 生命の起源と生物の進化 2. 遺伝子の変化と進化のしくみ 3. 生物の系統と進化 【1学期中間考査】	ワ 定 観	ワ 定 観	観 提
5					
6	2編 生命現象と物質	1. 細胞と物質 2. 代謝とエネルギー 【1学期期末考査】	ワ 定 観	ワ 定 観	観 提
7					
9	3編 遺伝情報の発現と発生	1. 遺伝情報とその発現 2. 発生と遺伝子発現 3. 遺伝子を扱う技術 【2学期中間考査】	ワ 定 観	ワ 定 観	観 提
10					
11	4編 生物の環境応答	1. 動物の刺激の受容と応用 2. 動物の行動 3. 植物の環境応答 【2学期期末考査】	ワ 定 観	ワ 定 観	観 提
12					
1	5編 生態と環境	1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産と物質循環 3. 生態系と人間生活 【学年末考査】	ワ 定 観	ワ 定 観	観 提
2					
3					

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察・実験 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
理科	生物基礎	2単位	2年	選択必修
選択条件				
対象者	2年生 進学系列、生活・福祉系列、ビジネス系列			
取得資格				
学習のアドバイス	生物基礎では、生物の基本的な構造や仕組みについて学習します。これからの人生を健康に生きていくために必要な知識を習得することができます。難解な理論などはほぼありませんが、初めて知る単語やイラストが多いため、記憶を定着させるために繰り返し学習をしましょう。授業の復習をしっかりと行い、提出物は必ず出しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 東京書籍「新編 生物基礎」 <副教材> 東京書籍「新課程 ニューサポート新編生物基礎」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	細胞の多様性や共通性、光合成や呼吸の仕組みを理解している。DNAの構造や遺伝子またはゲノムとの関係を理解している。 体内環境に関して、組織や血液、神経やホルモン、免疫についての知識を習得している。 生物の多様性や生態系について理解している。	細胞内小器官のはたらきを理解し、その細胞、生物が生命活動を機能させる仕組みについて科学的に思考している。 生物の形質が、遺伝子により形作られることや子孫へと受け継がれていくことを理解している。 体内を保つメカニズムを理解し、正しく表現している。また、学習した内容を自分の生活に落とし込むことで、日常生活と科学のつながりについて思考している。	生物個体の生命活動のしくみや生物個体同士のかかわりを認識し、学んだ知識を活用し粘り強く考えようとしている。 身近な体の問題を解決する過程を考察したり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4 5	第1編 生物の特徴	1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー 【1学期中間考査】	ワ 定	ワ 定	観 提
6 7	2編 遺伝子とそのはたらき	1章 遺伝情報とDNA 2章 遺伝情報とタンパク質の合成 【1学期期末考査】	ワ 定	ワ 定	観 提
9 10 11	3編 ヒトの体の調節	1章 ヒトの体を調節するしくみ 【2学期中間考査】 2章 免疫のはたらき 【2学期期末考査】	ワ 定	ワ 定 提	観 提
12 1 2 3	4編 生物の多様性と生態系	1章 植生と遷移 2章 生態系と生物の多様性 【学年末考査】	ワ 定	ワ 定 提	観 提

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 発：発表 観：観察 など